

クリエイタービジネス論リサーチプロジェクト 2020

情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション学科 4年
青木優花

今回私がこのプロジェクトに参加した理由は「面白そう!」と思ったからです。私は国際日本学部生ではなく、情報コミュニケーション学部にも所属しています。明治大学では学部を越えての学びを得られる機会がたくさんあります。今回のこのプロジェクトでは専門家の方々や先生から直にマーケティング調査を学べるという内容の充実さに大変惹かれました。そこで大学の最後の学年にあたる四年生で違う学部の授業を履修し、社会人になる前にさらに学びを拡げ、深めたいという思いがあり、参加しました。

今回の調査は例年と違って新型コロナウイルスの影響を受けたため、今回の調査では追加調査を行い、内容をより濃くできた特別な調査報告が完成したと考えております。

一方で、対面でのプロジェクト活動ができなかったため、進行するうえで苦労した点もありました。メンバーとは直接会うことはなく、初対面も会議もすべてオンラインでした。このような調査はメンバー全員ほぼ初めてだったので、オンライン環境下での慣れない調査作業はとても大変でした。

しかし、原田先生をはじめ、今回プロジェクトスーパーアドバイザーとして調査の指導協力をしていただいた博報堂 研究開発局 GM の木下陽介様、研究開発局研究員の谷口由貴様の指導のもと完成させることができました。夜の遅い時間での質問や連絡にも早急に反応をしてくださり、本当に毎回助けられておりました。感謝してもしきれません、誠にありがとうございます。そして一緒にプロジェクトメンバー10名の皆様。国際日本学部1年の西本朱里さん、国際日本学部1年の大川萌生さん、国際日本学部2年の木立友里香さん、総合数理学部2年の女子(匿名希望)、国際日本学部2年の中島悠さん、情報コミュニケーション学部3年の狩野将大さん、国際日本学部3年の早坂亮太郎さん、国際日本学部3年の丹羽智香さん、国際日本学部2年の松島早希さん、そして同じくリーダーを務めてくださった国際日本学部4年の豊永梨乃さん。本当に何度の修正にも快く引き受けてくださり、最後までやり遂げてくださって誠にありがとうございました。一緒にプロジェクトに携わることができて大変光栄でした。

今回のプロジェクトは誰一人欠けても、完成しませんでした。本当に皆様のおかげで今回のプロジェクト報告は完成いたしました。このプロジェクトに携わってくださった皆様に重ねて深くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

ぜひ、今後もこのプロジェクトを続けていただきたいと思います。長期での調査結果の変動に注目しても、大変興味深い内容になると思います。卒業生の一人として、来年以降のプロジェクトの報告も楽しみにしております。